

第 5 回 蒲郡市総合計画審議会 議事概要

日 時：平成 22 年 7 月 26 日（月）午後 2 時～

場 所：蒲郡市第 2 委員会室

出席者：大竹利信委員 土屋善旦委員 大向正義委員 小林静子委員 坂部哲雄委員 山本喜是委員 小池高弘委員 遠山憲章委員 小林俊雄委員 金子哲三委員 小田妙子委員 広中克幸委員 志賀笑子委員 富田忠男委員 大竹富三江委員 細江殉次委員 小林憲三（企画部長・稲葉副市長代理）杉森順子委員 和泉潤会長

（欠席者）喚田孝博委員 稲葉正吉委員

1. あい

2. 議事

(1) 基本構想案

和泉会長

- ・早速 次第に沿って議事を進め、基本構想案の土地利用構想と基本計画案の現在の策定作業の事務局より資料の説明をお願いします

(事務局より資料の説明)

和泉会長

- ・今の説明は基本構想の説明

事務局

- ・基本構想総論の土地利用構想の補足説明

小林俊委員

- ・春日浦の海側水産加工用地で分譲が工場進出の残地を商業用地に転用

事務局

- ・暫定的に工業系から商業系へ転用が取りうるが調整を必要の可能性

小林俊委員

- ・土地の売却ストップの現状と調整の方向性について

事務局

- ・p23 基本計画 2 - 2 水産業を戦略的施策内容 1：安定な経営基盤の充実に活用する方向を示す、愛知県等説明の体制を整える

小林俊委員

- ・その中で形原漁業協同組合（形原 西浦 竹島）と三谷漁業協同組合の合併を促進し、ある所属の漁協を 10 年間で合併させるの情報を載せらるるが、これについて県水産課 県魚連 水産庁も承知している
- ・この書も実現

事務局

- ・県管理の知柄漁港にも施設改修の要がある個別漁協の漁協合併も承知している方向性

小林俊委員

- ・書いてる10年間の水産庁全漁連も調整必要なる
- ・漁協の経営計画は今年度から11カ年計画の元が過剰な合併も検討する現段階は出来ぬと言わねば
- ・10年後に市や県助成されて経営改善を合併もする県や市は単協に対して支援の責務

和泉会長

- ・民間の組織で行政助総合計画で記述する方が好まれる

事務局

- ・産業振興課と担当課と別途協議再調整

和泉会長

- ・今回は基本計画の中身は基本構想の方針や視点と意見を打診

小林俊委員

- ・商業ゾーンに持てる思惑買も発生

和泉会長

- ・今の用途地域は何指定されて

事務局

- ・工業系地域は現状は変わらん

和泉会長

- ・実際の土地計画の用途工業専用地域はどの程度工業地域でも建てられる建築制限必要

小林俊委員

- ・のり口所を予定が取りなれば低未利用なる

和泉会長

- ・春日浦をどう考える地元の意向を考へ
- ・春日浦の状況を存するのは

事務局

- ・総合計画の中上位計画の元は基盤市計画と出てる今の地元の商業系は使難い
- ・土地利用を位置の10年間違土地利用率事実上は第四回総合計画の意図

小林俊委員

- ・埋め立て申請を水産加工用地で行った地の変更は

事務局

- ・総合計画で土地利用を変化させる

和泉会長

- ・埋め立て時特約をする総合計画に位置付は方よし
- ・土地利用構想全体基本構想の意見が揃る

大向委員

- ・人口8万の想定であり家を建てる土地が必要が市街化調整区域を変換10年後国道23号バイパス開通の思インターチェンジ付近工場進出の場所を想定してアクセスが良くなる住宅地も検討する
- ・住宅を建てる土地を増やし土地の耐震性を人口も増える方々を引っ越す

事務局

- ・資料4の黄色部分が住宅系ゾーンで都市計画図は国道247号をより少し市外化区域を少し北側で張り出して住居地を考へる

和泉会長

- ・住居住宅に関しては人口減少時代であり蒲郡で人口を増やせるか日本はコンパクトシテの考へで高齢者の人も住める方向の跡地
- ・今の住宅地の中で有効利用可能なを活用
- ・土地利用構想住宅ゾーンは原案より感温8万人の人口埋め込める部分は出る

坂部委員

- ・蒲郡西インターの工業系は

事務局

- ・この地域工業用地候補地全5カ所うち3カ所あり5所から優先順位をゾーンを概示

和泉会長

- ・土地利用の方針中の見点を図表表現
- ・資料3の基本構想をその具体的説明示

事務局

- ・前回審議会基本構想を提案時修正点を説明

会長

- ・それは土地利用の観点から変更点を

(事務局：基本構想の変更点を)

会長

- ・修正部分の土地利用の必要は議論
- ・文章の編修が必要ありp25 スポーツをスポーツ・レクリエーションの中心位置間違ありワーク・ライフバランスの中心位置の整合取
- ・観光の遠山委員

遠山委員

- ・これは基本計画観光の後意見を述べる

杉森委員

- ・p25 図書館非常に貧弱状態あり改修も必要あり図書館文化施設入

事務局

- ・図書館は文化施設入

和泉会長

- ・情報の関係メディア・センターは提案は

小田委員

- ・p25の6(2)地域コミュニティで東部市民センターをJの婦人部による利用を2階エアコンは28度で設定される扇風機を持ち込んで暑市事務室は建物が

志賀委員

- ・調理室と新築の空調時調子悪る

小田委員

- ・公民館の事務所非常な狭い2階に居る事もボランティア利用でも参加した人三谷の人にも意見を聞いたコーラーを呼んで農家もやさい
- ・北部や東部公民館高齢者も確認の重宝してる

事務局

- ・東部市民センターの拠点施設ある状況を調べる

和泉会長

- ・実施計画として使勝手策案

杉森委員

- ・市民と歩み寄り市民ボランティアで参加するが市民とが一緒の何をやることを強調するから市民ボランティアに頼られると良い
- ・市民と市民と一緒にやること

会長

- ・市民協働ボランティアも含めてボランティアを入れるそれ以外は入らない記述

杉森委員

- ・市民が中心

会長

- ・協働の協働会議今議論してる通る
- ・中心
- ・てを請るの自分で修正する必要あるが視点中心に頼る
- ・ない土地利用計画の再整備の大綱を進めるため土地利用の視点の図を示してる
- ・大まかな大綱及土地利用の方針了解は1か

委員一同

- ・意義

会長

- ・この基本構想を講される基本計画案でも審議は本日説明中心と思

(2) 基本計画案

(事務局：基本計画案を説明)

事務局

- ・基本計画の説明終了から進める

和泉会長

- ・本日は全部説明は1か・質問を答えて意見を得る効率良い

和泉会長

- ・説明は部門別計画の中身計画の4施策は説明は全体を把握する
- ・今日は時間があるから意見を言う人は発言を願う
- ・事務局が質問提出シートは説明する

小田委員

- ・農協からハウシンが多ハウスの中にも来るは謝辞
- ・3年前は野犬を捕る貴ハウシンが在る最後に被害
- ・農協はハウシンによる被害をまわ市報告する
- ・被害はハウスマカンをやめよ
- ・ハウスマカンは山沿に全体的に被害出る特多が阪本東部地区 農業ゾーンある現実ハウシンの被害

遠山委員

- ・基本目標4 - 2に盛り込んでる実際基実施計画を立てる

志賀委員

- ・防災は福祉地区計画は合世の課題の共有する総合計画で扱
- ・健康は10年食率をターゲット入るイメージか?

事務局

- ・食育振興計画のデータを使

和泉会長

- ・地域防災計画は世或防災計画は世或防災課題世或防災体制の強化と観点

遠山委員

- ・基本計画2 - 6 観光 4 - 3 環境保全
- ・観光は観光協会に現在やてる基本計画の担当課割りて個別書れるも少横断的に書
- ・観光部分間は問章から具体的に書れるメールで連絡
- ・4 - 3 環境保全は4項目を個別書れるも少環境は少書
- ・基本目標は少具体的に書れる

和泉会長

- ・環境は書先は少考以後事務局相談

金子委員

- ・基本計画の各章の内容する他は調整難い

事務局

- ・詳細な実施計画は基本計画48項目の耐性を確認する目的は詳細に基本計画を書か意見は少
- ・総合計画は最上位計画の)実施計画や個別計画はメニュー出る第1意見

和泉会長

- ・その施策の関連性を見通る意見を頂4 - 3 環境保全は再編も念頭に議

大向委員

- ・全体的イメージは10年後の姿描れる姿から逆見今を基本計画書

杉本委員

- ・基本計画の各項目が非常縦割にその完結をそれを図式化する関係性が見る形は初級教育子育て

細江委員

- ・基本構想 p19は80,000 人の将来人口書であるが平成32年人口は78,000 人なり高齢化が進むと書ける書ける解釈をのぞくか
- ・医療は地域完結の地域範囲をのぞくか

事務局

- ・地域の言葉を地域で定義使われているか

和泉会長

- ・蒲郡市内に住むか

事務局

- ・地域医療は地域で完結する地域も連携か

細江委員

- ・基本計画 1 - 2 地域医療の施策内容書けるか内容を市民病院に求められるか

和泉会長

- ・80,000 人の人口構成は目標の目標に向けて8,000 人の人口推計は予測であるより目標 8 万人の政策を行いたい

細江委員

- ・それは高齢化率を押し進んで数は8万人ある理解が難い
- ・高齢化率を減少させる政策を行いたい

和泉会長

- ・80,000 人の数字高齢化率を抑える方向をよ

(意見提出シートの説明)

大向委員

- ・意見シートを記入したものをか

事務局

- ・次の総計審議に配布するものもある